

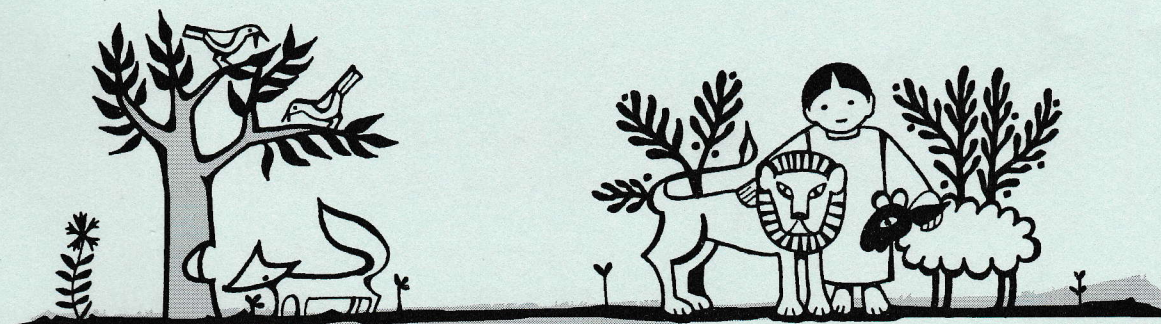
日本カトリック

第38回 正義と平和全国集会
2014 福岡大会



いのちを大切にする社会をめざして

— 見て、聞いて、知って、働く —



צדק ושלום

イザヤ 11:5-8

2014年9月13日(土)・14日(日)・15日(祝・月)

主会場 —— カテドラル大名町教会 福岡市中央区大名2-7-7

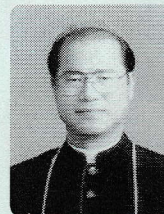
主催：カトリック福岡教区 共催：日本カトリック正義と平和協議会

主管：第38回正義と平和全国集会2014福岡大会実行委員会

福岡大会代表 ご挨拶

カトリック福岡教区長 ドミニコ宮原良治司教

第38回目を迎える今回の「日本カトリック正義と平和全国集会」福岡大会のテーマは、「いのちを大切にする社会を目指して」です。福岡大会実行委員会のメンバーは、「おもてなし」の心で一人でも多くの参加者を温かくお迎えしたいと願いながら、約1年前から準備企画しています。来る9月13日から15日までの福岡大会への沢山のご参加を楽しみにお待ちしております。



フランシスコ教皇は、貧しい人を大切にしない教会は真の教会ではないと論じ、自ら先頭に立って社会の現実を目を向けながら、一人一人を大切にする実践と模範を示しています。

さて、日本の現状を表現して、「孤族の国」「神不在の社会」などという言葉が飛び交って久しいです。情報の氾濫に反比例して人間関係が希薄になり、人間の尊厳が疎かにされている現実に批判と反省を込めた表現だと思います。孤独死や自死者の数は幾分か減少したとは言えまだ高い水準にあります。社会の歪みは、少子高齢化社会、地域の二極化、経済格差、核家族の歪みなどの形で顕著になっています。

今回の福岡大会は、このような社会の現実をしっかりと見つめ、その現実の叫びや訴えに耳を傾けながら、誰もが願い求めている平和で、安心・安全、充実した生活と社会を目指したいという思いからテーマが選ばれました。福岡大会を通して、救い、癒し、安全、心の温もりと安らぎ、愛の交わりに満ちた福音的な社会の構築を目指したいと願っています。

福岡大会実行委員長 ご挨拶

中村 彰神父

第38回カトリック正義と平和全国集会2014福岡大会を福岡教区主催で開催出来ることは大きな喜びです。これまで何度か開催の依頼はありましたが、種々の理由で引き受けることが出来ませんでした。今回は福岡教区信徒使徒職協議会の積極的なバックアップがあったので実現しました。初めてのことで足りないところは多々あるとは思いますが、実行委員会一同心を込めて準備しましたので皆様の参加をお待ちします。

今回の全国集会のメインテーマは「いのちを大切にする社会をめざして～見て、聞いて、知って、働く～」となっています。メインテーマを深める形で3日間のプログラムが組まれています。詳細な案内はこの次のページから紹介されていますのでよくお読み下さい。その多くが福岡教区の現場の問題や取り組みです。是非参加されて見て、聞いて、知っていただきたいと思います。働きはその後に自然と生まれてくるものと思います。

福岡教区は韓国と一番近い教区です。その韓国の済州教区から姜禹一（カン・ウイル）司教様に基調講演をしていただくことは日韓の問題を抱えている日本の現状でピンポイントだと思っています。

全国から、そして福岡教区から参加して下さる方々との出会いを実行委員会一同楽しみにお待ちしております。

第38回 正義と平和全国集会 2014福岡大会

テーマ：いのちを大切にする社会をめざして
～見て、聞いて、知って、働く～

大会(3日間)のスケジュール

9月13日(土)		9月14日(日)		9月15日(月)		
会場 時間	カテドラル大名町教会	会場 時間	カテドラル大名町教会	現地学習	会場 時間	カテドラル大名町教会
09:00		09:30	主日ミサ(大聖堂) 説教:シーゲル神父	・水俣(博多駅 09時09分発)	09:00	シンポジウム(対談) 奥田牧師・大塚司教 司会:森山神父 (会場:大聖堂)
10:00		10:00		・筑豊(大名町 08時40分発)	10:30	↓
11:00		11:00	講演(大聖堂) 講師:シーゲル神父	・下関(大名町 08時30分発)	11:00	派遣ミサ(大聖堂) 宮原司教
12:00	受付(1階ホール)	12:10	終了	・ホームレス支援 (B:大名町13時30分)	12:30	↓
13:00		13:30	分科会 (各会場)	・菊池恵楓園(大名町11時発)	13:00	閉会式(大聖堂)
14:00	開会式(大聖堂) オリエンテーション		↓			終了
15:00	基調講演 講師:姜禹一 ^{カン・ウイル} 司教		終了			
17:00	引続き 高校生平和大使	17:00				
17:30	終了					
18:00		18:00	ネットワークミーティング(3,4階) テゼの祈り(聖堂)			
18:30	交流会(1階)					
19:00						
20:30	終了					

※交流会は事前の申し込みと会費振込みが必要です。→p.16参照

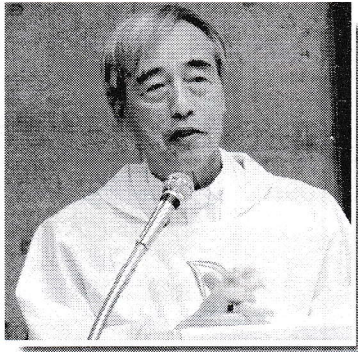
※9月14日(日)の昼食弁当(大名町教会講演後)を申込まれた方は1階ロビーで受取ってください。

※土曜19時・日曜07時・日曜16時(英語)にミサがあります。(現地学習ではミサのないところもあります。)

※分科会や現地学習会は事前申し込みが必要です。希望者が多い場合は事務局で調整します。

テーマ 「東アジアの平和と福音的展望」

韓国国民1%の済州島民と東アジアの平和実現を夢見ながら



カン・ウイル司教

【韓国チェジュ教区長 カン・ウイル司教様より】

この全国集会が行われるのを見て私も関心と共感を覚ええました。…隣国教会の事例を通して日本の皆様にも福音と現実を繋げて行く新たな省察と話し合いの機会に貢献できれば幸いに存じます。大会中、私も共に参加させていただきたいと思います。

〈ご案内〉

韓国済州教区・姜 禹一司教様は、過去の日本の植民地支配、4.3事件など歴史の中で大きな苦しみを負わされ、顧みられることもなかった済州島の声なき人々に寄り添われ、近年では済州島における海軍基地建設反対運動にカン・ジョン村の人々と共に率先して取り組んでこられました。そして今日それは、韓国カトリック教会全体の大きな祈りへと結実していきました。また、日韓両司教団の共通歴史認識の模索を契機として、毎年開催されている「日韓司教交流会」では、福音的な視点から様々な社会の問題にも目を向けられ、人間の尊厳のために預言的な役割を果たしておられます。

今回、済州島より姜司教様をお招きし、「東アジアの平和と福音的展望」と題して基調講演を頂き、司教様の済州島民に寄せる率直な気持ち、平和への思いなど大いに語ってもらえたらと思います（日本語はとても上手です）。

現在の日本は敗戦から70年を前にして、再び戦争をする国へと進もうとしています。この歴史的な現実の中で生きる日本の教会は、今こそ過去の過ちと未来を見据え、教会の本来の使命と役割である人類の一致と交わり、平和の道具として働くことが求められているのではないでしょうか。「正義と平和」の根幹が問われている今、私たちも「福音と現実を繋げていく新たな省察」、およびその実践について姜司教様と一緒に考えてみましょう。

高校生平和大使の呼びかけ 17:00～17:30

「平和への思いを佐賀県から世界に広めたい」

第15代、高校生平和大使 吉田 滯

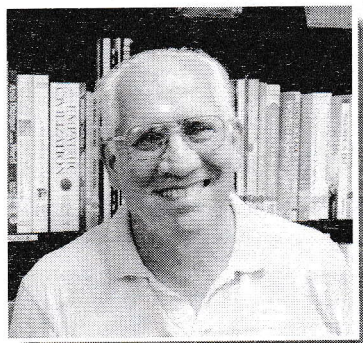
私は昨年度から第15代、佐賀県初代の高校生平和大使として核兵器の廃絶と世界平和の実現を目標に活動しています。昨年度は、活動を始めたばかりということで試行錯誤しながら活動に取り組んできた1年でしたが、徐々にメンバーの数も活動回数も増え、活動も活気づいてきており、着実に佐賀県での活動を根付かせることができているな、と感じています。

今後の課題としては、もっと県内の若い世代の人たちにこの活動について知ってもらい、69年前のあの悲惨な原爆投下について考え直してもらおう機会を作ることです。今最も必要なのは、次世代を担う私たちが動き出すことだからです。この活動、私たちの平和への思いを佐賀県から世界に広めることを目標に、今後も高校生らしく、今自分たちができることを1つずつ、ただと確実に続けていけたら、と思います。

交流会 18:30～20:30 (※事前申込みが必要です。3,000円)

9 / 14(日)

ミサとミニ講演



シーゲル神父

主日のミサ 09:30～
(説教：シーゲル神父)

ミサ後の講演 11:00～12:10

講師：シーゲル神父
(神言修道会)

テーマ

「イエスが望む教会と社会との関わり」

〈ご案内〉

今回、初めて「正義と平和全国集会」が福岡教区で開催されることになりました。今までの福岡教区における「正義と平和」に対する学習や活動は、社会福音化への大切な取り組みではあるのですが、地域的にも、時間的にも限定的な動きに留まり、必ずしも十分ではなかったように見られます。

しかし、昨年誕生した教皇フランシスコは今の教会が最も必要とすることは傷を癒す能力、信ずる人たちの心を温める力と言い、戦闘後方の「野戦病院」であるよう望んでおられます。そこには私たちの教会が厳しい社会の中にある人々に愛に包まれた「正義」による神の偉大な計画である一致の姿、すなわち「平和」を生きる営みを実現するよう期待されているように思います。

皆さまもご存じのように現代社会は解決困難な状況にある政治問題、環境問題、そして格差などの生きづらさを感じさせる社会問題、生活問題などが山積しています。

この度、聖書が教える「正義と平和」の価値を改めてマイケル・シーゲル神父様の講演の中で学び、日々の生活のなかで課題解決への調和ある行動を示し歩みたいと思います。そしてイエスの切なる願いである「神の国」の建設のために共に努めて参りましょう。

9 / 14(日)

分科会

NO.1~10

13:30~

(分科会によっては、開催時間が多少異なります。)

参加無料です。

<p>■ 第1分科会</p>	<p>日韓問題について</p> <p>講師／小林 知子 (福岡教育大学教授)</p> <p>会場／大名町教会 定員／ ~50名</p>	<p>■ 第6分科会</p>	<p>キリスト者として働くこと</p> <p>準備者／西新教会青年会 と有志</p> <p>会場／大名町教会 定員／ ~50名</p>
<p>■ 第2分科会</p>	<p>死刑囚と出会う</p> <p>講師／原田 正治 (被害者と加害者との出会い考える会)</p> <p>会場／大名町教会 定員／ ~50名</p>	<p>■ 第7分科会</p>	<p>滞日外国人問題について</p> <p>講師／九州ネットワーク</p> <p>会場／キリスト教会館 定員／ ~30名</p>
<p>■ 第3分科会</p>	<p>薬物依存からの脱却</p> <p>講師／ (未定)</p> <p>会場／福岡市市民福祉プラザ 定員／ ~50名</p>	<p>■ 第8分科会</p>	<p>障害者問題について</p> <p>講師／精神障害者家族グループ</p> <p>会場／大名町教会 定員／ ~30名</p>
<p>■ 第4分科会</p>	<p>原発事故後の福島の現状報告</p> <p>お話／避難ママのお話 & 福島家族支援実行委員会報告</p> <p>会場／大名町教会 定員／ ~50名</p>	<p>■ 第9分科会</p>	<p>女性と子どもの問題</p> <p>講師／石本 宗子 (久留米市男女平等推進センター 相談コーディネーター/社会福祉士)</p> <p>会場／大名町教会 定員／ ~50名</p>
<p>■ 第5分科会</p>	<p>憲法問題について</p> <p>講師／松浦 悟郎司教 (カトリック大阪教区司教)</p> <p>会場／キリスト教会館 定員／ ~100名</p>	<p>■ 第10分科会</p>	<p>世界の貧困問題について (カリタスジャパン分科会)</p> <p>講師／菊地 功司教 (カリタスジャパン責任司教)</p> <p>会場／大名町教会 定員／ ~30名</p>

※会場は、参加状況によって変わる場合もあります。

9 / 14(日)

現地学習 NO.11~16

★参加費は9月14日当日にお願いします。

※現地学習は、一定の定員に満たない場合、中止することもあります。

■ 第11 現地学習	ホームレス支援 定員／40名 参加費／2,000円(Aコース) (交通費・昼食代込) (Bコースは各自昼食) 講師／抱撲館館長	Aコース 11:00 大名町教会1階出発 「抱撲館(ほうぼくかん)福岡」見学と講演 須崎公園夏祭り参加
		Bコース 13:30 大名町教会厨房集合 須崎公園夏祭り参加
■ 第12 現地学習	玄海原発 定員／20名 参加費／3,200円 (交通費・昼食代込) 講師／仲秋喜道(僧侶)	08:30 集合 09:00 大名町教会出発～ 10:30 玄海原発見学 ～ 12:00 昼食 名護屋城址(雨天の場合は玄海町) 13:30～15:30 学習会(玄海町町民会館) 15:30 玄海町～ 17:00 大名町教会
■ 第13 現地学習	水 俣 定員／20名 参加費／17,000円 (交通費・昼食代込) 講師／水俣病語り部	09:09 JR博多駅出発～ 10:11 JR新水俣駅着～チッソ水俣製造所 12:00 昼食 水俣病歴史考証館 13:45 語り部宅訪問 15:20 水俣湾埋立地、慰霊碑等見学 ミサ 16:57 JR新水俣駅発 17:46 JR博多駅着 18:10 大名町教会
■ 第14 現地学習	筑 豊 定員／24名(マイクロバス) 参加費／2,500円 (昼食各自一道の駅) 案内／瀬下幸弘(信徒協)	08:40 大名町教会出発～ 09:40 石炭資料館、国際交流広場、法光寺～ 12:20 昼食(道の駅-1億円のトイレ)～ 13:30 日向墓地、豊州炭鉱慰霊碑、 15:00 田川教会、韓国人徴用慰霊碑 17:20 大名町教会着
■ 第15 現地学習	下 関 定員／24名(マイクロバス) 参加費／3,000円 (交通費・昼食代込) 講師／鋤野保雄 北九州関門ACO	08:30 大名町教会出発～ 09:40 関門トンネル～下関市内見学 12:00 昼食(労働教育センター) 13:30～センターの役割の話、 遥拝所、 下関市内→関門大橋 17:20 大名町教会
■ 第16 現地学習	菊池恵楓園 定員／16名 参加費／3,000円(交通費) (昼食各自-高速道パーキング) お話し／阿部智子(入所者)	11:00 大名町教会出発～ 12:00 昼食 広川サービスエリア 14:00 恵楓園着 現地学習会、施設及び 歴史資料館見学、入居者との交流会 17:00 恵楓園発 19:00 大名町教会

1

日韓の問題

テーマ：日韓の歴史認識をめぐる現状と課題について

小林知子（福岡教育大学国際共生教育講座）

来年は日本の敗戦から70年・日韓条約締結から50年。この節目をみすえ、この分科会では、あらためて日韓の歴史認識をめぐる問題を取りあげます。

近代日本と他のアジア諸国との「過去の清算」が現在もなお課題となるのは、戦後も継続した植民地主義や冷戦体制の問題を抜きには考えられません。この分科会では、まずは韓国において、植民地主義や冷戦に端を発する諸問題を克服するために、どのように努力が重ねられてきたのかを、ドキュメンタリー映像をみながら概観します。そのうえで、日本の現状についてともに考えるとともに、強制動員真相究明、共通歴史教材づくり、児童画交流展などの取り組みについて、自身の実践もふまえて紹介します。

歴史問題というと、マスコミやネットの領域では、とかく国民単位・国家単位での対立が強調されがちですが、いうまでもなく日本人、日本国民といっても多様ですし、いまや国際関係を考える時には国家以外のアクターにも着目することが不可欠です。国連機関や世界の他地域における、対立を超える視座の模索・実践についても紹介しながら、日本と朝鮮半島、ひいてはアジアのなかの日本について考えます。

使用映像 韓国・民主化運動記念事業会「韓国民民主化運動史」2007年 ほか

参考文献 徐毅植ほか『日韓でいっしょに読みたい韓国史 未来に開かれた共通の歴史認識に向けて』明石書店、2014年

人間の安全保障委員会『安全保障の今日的課題』朝日新聞社、2003年 など

2

死刑廃止問題

テーマ：死刑囚と出会う

死刑廃止・タンポポの会

私たちの住む福岡には死刑台があります。私たち「死刑廃止・タンポポの会」は福岡で執行があれば福岡拘置所への抗議、また他の地で執行があれば福岡市内でのピラ配布など情宣活動を行いながら、死刑制度という人殺しの空しさ、残酷さを訴えています。また獄中者との交流、支援カンパ、傍聴支援も微力ながら行い、10・10世界死刑廃止デーには福岡の地で集会や街頭活動に取り組んでいます。通信発行も行い1987年の設立以来、細長〜く、少数精鋭で頑張っています。

今回、講師として原田正治さんをお招きし「死刑囚と出会う」と題して、皆さま方と共に分科会を行うことになりました。「死刑」というと「被害者感情」が取りざたされますが、被害者の苦しみは死刑執行で癒されるのでしょうか？ 原田さんは弟を殺され、苦悩の十年を過ごし、そして加害者に会うという決断をされました。その出会いをきっかけに、加害者の死刑停止および面会継続を求めて活動を始められ、現在は「被害者と加害者との出会い考える会 - OCEAN」を設立し死刑廃止問題に取り組んでおられます。（著書に「弟を殺した彼と、僕」など）

裁判員制度が始まって5年が過ぎました。殺人や強盗・強姦・放火などの事件を市民裁判員として裁くという制度です。関係ないと思っていた死刑制度に関わる可能性が誰にでもあります。この機会に死刑について考えてみませんか？

多くの方のご参加お待ちしております。

3 薬物依存からの脱却

九州DARC(ダルク) 19周年記念フォーラム「今日一日」

九州DARCも今年で19年目を迎えることが出来ました。日頃よりDARCの活動を皆様にご理解いただき、支えられての事だとスタッフ、メンバー一同深く感謝しております。

ここ最近是我们の想いとは逆に、増加、深刻化が進んでいる薬物乱用・依存問題において、当事者の私たちだけではなく行政・司法・医療・福祉と様々な機関との連携が、無くてはならないものとなっています。これからのDARCの活動のなかでも各機関とのネットワークを繋いでいく事の重要性はさらに大きくなっていくもので、この機会にそれぞれの立場から見た薬物乱用・依存問題について少しでも多くの方に知って頂きたいとフォーラムを開く事に致しました。皆様におかれましてはご多忙とは存じますが、ぜひ足を運んで頂けますようお願い申し上げます。(九州ダルク 大江昌夫)

9月14日(日) 12:30~16:30(予定)

会場: 福岡市市民福祉プラザ(ふくふくプラザ)

プログラム予定

- ・基調講演 / (未定)
- ・パネルディスカッション — 「これからのDARCの役割を考える」
- ・当事者と家族の方の体験談

出来るだけ多くの仲間に話して貰いたいと思っています。お楽しみに。

4 福島の実況、福島支援

テーマ: 原発事故後の福島の現状報告・福島家族支援活動報告・ワールドカフェ

第一部 福島の現状報告

福島原発の事故直後、東京教区麹町教会近隣にある元赤坂プリンスホテルに放射能汚染を避け沢山のママと子どもたちが避難してきました。事故当初は予想もしなかった長期にわたる避難生活を彼らは今もなお続けています。

きらきら星ネットの生活相談と支援活動の中から見えて来た生活上の困難・問題点、また昨年からは始まった国と東京電力を相手取った福島原発被害東京裁判について、現状を支援者の立場から報告致します。

<当事者である避難ママからのお話>

福島原発の事故直後にママたちと子ども達が体験した事やこの3年間に感じてきた事、親戚や親しい知り合いのいない土地での避難生活について当事者でなければ話せない生の声を聞いて頂きます。

第二部 福島家族支援実行委員会(福岡教区)活動報告

昨年7月、福岡地区女性の会は保養プログラム「博多にきんしゃ〜い」を実施致しました。ご参加頂いた10家族28名の皆様からは「放射能を気にすることなく、子どもと久しぶりにのびのび過ごせました。是非また呼んでください。他の家族へも声をかけて下さい。」と感謝の言葉を頂きました。今年からは「福島家族支援実行委員会」として活動の輪を広げ、

昨年に続き7月に保養プログラムを行います。

皆様にもこの輪が広がる事を願い「博多にきんしゃ〜い2」を報告させていただきます。

第三部 ワールドカフェ

コーヒーを片手にリラックスした雰囲気の中で、皆様と本音で分かち合うひと時を！

多くの方のご参加お待ちしております。

5 憲法問題

テーマ：「憲法と私たちの生活～イエスの目を通して～」

今、憲法が、そして日本が危ない！

第2次安倍政権発足から1年2ヶ月。今、まさに日本の民主主義・立憲主義そして平和主義が最大の危機に直面しています。

私たちの国は、戦後70年近く平和憲法を持つ国、平和を愛する国として国際的にも認められ、信頼を得て、そのおかげで経済的にも発展してきました。現在の日本の繁栄は日本国憲法に守られてきたとも言えます。その平和国家日本を現安倍政権は「美しい国」「強い国」を目ざし、戦争のできる国に作り替えようとしています。昨年、96条改定を試みましたがうまくいかず、最近では解釈改憲によって集団的自衛権の行使容認を目指しています。昨年末には特定秘密保護法を制定し、また靖国参拝を強行し、いたずらに近隣諸国を刺激しているばかりか、欧米諸国も日本の右傾化ととらえ、大きく国益を損ねつつあります。自民党の憲法改正草案では、その他にもいたる所で民主主義に逆行し人権を損ねる変更が見られます。また最近の世論調査では、国民全体の意識も後ろ向き・内向きになりつつあるようです。

この流れの中で、イエスを信じ、イエスと共に生きようとする私たちはどのように考え、行動すればいいのでしょうか？憲法問題に精通し、正義と平和協議会の担当司教でもあった松浦悟郎司教様のお話をもとに、共に祈り、共に語り合い、考えてみませんか？

あなたの参加をお待ちしています。

6 キリスト者として働くこと

テーマ：人間にとって働くとは？

「働く」ことは、生きるために欠かせないことである。しかし、果たして、「働く」、「生きる」とはどういうことだろうか。

仕事をしていると、時間に追われ過ぎていく一日の大半を占め、「何のために働くか」なんてゆっくり考える時間などない。「自己責任論」などが強調され、世の中に何かしらの葛藤をもって、働いている人がきっとたくさんいるはずだ。そして、給与が出ない働き方もあるのではないかと、仕事とプライベートのバランスが大切なのではないかと、キリスト者として、心身ともにどう働くのが神様に望まれているのだろうか。そんなことを有志で話しているうちに、西新教会の皆さんの声を聞いていくことにした。教会学校の子どもたち、18歳～80歳の老若男女にアンケートをとり、世代やグループに分かれ、複数回分かち合いをしてきた。

西新小教区という限られた声ではあるが、声を集める経過を通して、信仰や小教区の絆の再確認につながってきたように感じる。隣でミサに与っている人がどんな人か少しわかり、周りの力を借り、祈りが強くなってきた。当日は、働く上での問題テーマの提示、劇などを通して参加者にも広くご意見を伺い、有意義な時を共有したいと考えている。

7 滞日外国人問題

テーマ： 外国人の現状について

1980年代の高度成長に伴う日本の労働者不足を反映して、多くのオーバーステイの外国人労働者が存在し社会問題となりました。日本政府はこれらの状態を解消する狙いもあり1990年の入管法の改定では、かつて各国へ移民して行った日系人家族の三世までの入国を認めることになりました。そのためラテンアメリカから多くの日系人の労働者が来日しましたが、急激な外国人労働者の増加に伴い様々な問題が起きました。

それから20年以上の時間が過ぎ、滞日外国人の環境も大きく変化しています。

今回はこの分科会を「移住労働者共に生きるネットワーク・九州(九州ネット)」に依頼されましたので、外国人労働者の実情や課題などを二人の共同代表が報告します。

九州地域での問題や課題などを具体的に報告します。今までこの問題を全く知らなかった方にも分かりやすく報告しますので、たくさん参加をお待ちします。

- 1、外国人問題の原点に戻って、古くから福岡地区で活動している「アジアに生きる会」の井上幸雄が、今までの外国人問題の変遷と課題を話します。
- 2、かつては北関東、北陸、山陰地方などで多発していた研修生問題は、今や全国に広がっています。2010年に改定されたこの制度は研修期間が大幅に短くなり、研修生問題から技能実習生問題と変わってきました。しかし、問題はほとんど変わっていません。最近は、この九州地域でも実習生問題が多発しています。今回はこの問題について「外国人実習生権利ネットワーク・北九州」の岩本光弘が、現在発生している事案を中心に報告します。
- 3、皆さんからの質問や意見などを交換する時間を取ります。

8 障害者問題

テーマ：「教会は野戦病院です」

「教会は危機的な状況の中でどんなことを緊急になすべきでしょうか。」のインタビューに教皇フランシスコは「私ははっきりと見ます。教会が今日最も必要とすることは、傷を癒す能力です。信じる人たちの心を温める力です。身近さと親しさです。教会は野戦病院だと思います。・・・まず傷ついた人々を癒すことをなすべきです。その後で、残りのことを話せるようになるのです。傷を癒す、傷を癒す、・・・、低い下から始めるべきなのです。」と答えています。

障害者問題、今回は精神障害者問題に特化して精神疾患発症からの闘いをその家族に語ってもらい悩み・苦しみ・喜びを分かち合いたいと思います。

9 女性と子どもの問題

テーマ：DV問題と子どもの影響
～女性と子どもへの支援のあり方を考える～

家庭内暴力、引きこもり等、子どもたちに顕在化している行動の背景にDVや児童虐待が潜んでいるといっても過言ではなく、DVは、一組の夫婦・カップルの暴力にとどまらず、次世代の子どもたちの健康な成長を阻む、人の生き方を阻害する重大な人権侵害、社会問題であることが明確になってきています。

DV被害者支援の現場では、安全を脅かされている女性と子ども、両方を視野に入れながら、被害当事者たちの安全確保とエンパワメントをめざして、支援にとりこんでいます。

今回の分科会では、まずは、DV問題とはどのようなものか、どのようなことが背景となって起こっているのか、加害者、被害者それぞれの状況とそこにいる子どもたちの状況を共有すると共に、どのような支援が望ましいかを学びます。

その後、事例をもとにロールプレイやグループワークによってDV被害者支援の相談場面における支援のあり方を考えたり意見交換しあい、実践的な支援のあり方の一端を学びます。

10 世界の貧困問題

テーマ：カリタスジャパン反貧困キャンペーン
『五つのパンと二匹の魚』

国際社会が15年という期限を定めて合意したミレニアム開発目標。その期限はあと一年と迫っています。完全とは言えないまでも目標を達成するであろうと予測される項目もありますが、しかし世界の現実、必ずしも世界人権宣言が目標に掲げた理想とはかけ離れています。国際社会はすでに「ポスト2015開発アジェンダ」の議論を進めています。その中でも飢餓の問題は深刻です。とりわけアフリカは深刻で、2013年6月末に開催されたアフリカ連合のハイレベル会合は、「満場一致にて2025年までにアフリカの飢餓を終結させるとの宣言を採択」したほどです。

国際カリタスは「一つの家族、すべての人に食料を」と名付けた世界的なキャンペーンを、2013年12月10日に開始しました。その目的は、2025年までに世界から飢餓を撲滅することです。世界160を超えるメンバー団体が参加し、日本においても、カリタスジャパンが反貧困キャンペーン『五つのパンと二匹の魚』を展開中です。

世界の貧困の現実とその対策について、何ができるのかを考えましょう。

なぜ、水俣病公式認定から58年も経ているのに、水俣病の認定申請が増えてきているのでしょうか。新たに患者が発生しているわけではありません。これまで、黙っていた人々がようやく声をだし始めているのです。水俣病をめぐる患者救済・補償が未だ終わっていないどころか、水俣病を名乗ることへのためらいは強く残っています。

東日本大震災と福島原発事故以降、水俣病事件と被災地福島が重なって見えます。

水俣病事件の現地を学ぶことは福島原発事及び被災地の今後のあり方にも生かせるのではないのでしょうか。

09:09	JR博多駅発	15:00	語り部宅出発
10:11	新水俣駅着	15:20	水俣湾埋立地(エコパーク着)
10:30	チッソ水俣製造所見学		親水護岸・魂石・慰霊碑見学
12:00	一般財団法人水俣病センター相思社 昼食(わっぱ飯弁当)		慰霊碑前にてミサ
	水俣病歴史考証館見学	16:57	新水俣駅発
13:30	水俣病センター相思社出発	17:46	JR博多駅着
13:45	語り部宅訪問…	18:10	大名町教会着

テーマ：強制連行が残した足跡から日韓交流を学ぶ

大名町教会から車でおよそ40分ほどで、五木寛之の「青春の門」で知られた筑豊地域に入ります。さて福岡県のほぼ中央に位置する“筑豊”とは…。

「過去を振り返ることは、将来に対する責任を担うことである」この言葉がピタリあてはまる場の一つが「筑豊」です。

戦前戦中、多くの朝鮮人と外国人が日本各地に強制連行されました。筑豊には約15万人にのぼる朝鮮の人々が炭鉱労働に従事させられ、多数の犠牲者が出ました。

現在この地には多くの“慰霊碑”が建っています。今回の訪問では、「寂光 朝鮮人炭鉱殉職者の碑」「韓国人徴用犠牲者慰霊碑」などを見学します。それは、慰霊の意味よりも、“強制連行と強制労働の地、筑豊”が、私たちに叫ぶ地底の声を感じ取ってほしいからです。特にポタ石が置かれただけの「日向(ひゅうが)墓地」は、訪れる人々の心の琴線に触れさせる場でもあるでしょう。強制連行が残した足跡から学ぶことによって、現在の日本と韓国(朝鮮)がどのような関係になればよいのか、多くのヒントが与えられる現場です。感動の一日を味わってください。

08:30	大名町教会集合	08:40	出発	13:40	日向墓地
09:40	宮若市石炭資料館見学			14:20	豊州炭鉱慰霊碑
10:40	飯塚市霊園内 国際交流広場			15:00	カトリック田川教会
11:45	田川市 法光寺「寂光の碑」			15:50	韓国人徴用の碑
12:20	昼食「道の駅」(1億円のトイレ)			17:20	大名町教会着

テーマ：日本とコリアの友好を

下関は、戦争と平和を考える地です。明治維新発祥の地、その後の朝鮮半島支配の出発地となりました。また石炭産業等を支えるための朝鮮半島からの強制連行の窓口でした。旧日本軍「慰安婦」問題で日本政府を断罪した画期的な下関判決が出された地。現在でも戦前の紀元節2.11「建国記念の日」パレードに市が補助金支出を行っている下関。コリアンタウンがあり、ヘイトスピーチが行われたこともある下関。関釜フェリーでつながる日韓交流の地。…この地ならではのものが多々あります。

案内を日本とコリアを結ぶ会、そして市内の信徒のみなさんが迎えてくれます。下関市民の活動拠点のひとつである労働教育センター(イエズス会施設)では、センターと市民活動の協働も学ぶことができます。

近隣国から日本が問われている今日、安倍首相のお膝元の下関現地学習は正義と平和を促進するための助けになるでしょう。

08:20	大名町教会集合	12:00	昼食(労働教育センター)
08:30	大名町教会発		センターの役割等説明
09:50	関門トンネル入口着 トンネルを歩く	13:30	日和山公園内ー選擇所 下関市内見学～関門大橋
09:50	ニッコリ会の説明開始 下関市内見学	17:20	大名町教会着

テーマ：ハンセン病について学ぶ

「熊本はハンセン病との関わりが深い」10年前に南小国のあるホテルが菊池恵楓園の入所者の宿泊を拒む事件があり、ハンセン病に対する偏見と差別がまだ存在しており、ハンセン病が過去の遺物ではないことがわかります。ハンセン病患者が強制隔離や断種に苦しんだ暗い過去と、らい予防法闘争や国賠訴訟について知ることは大事なことです。今回は入所者の方と共に、どうしてこうゆう事態が起こったのか、これからどうすればよいのか、考える機会のひとつの場になればと思います。

11:00	大名町教会出発(ミサ後できるだけ早く出発)
12:00	昼食 広川サービスエリア
14:00	菊池恵楓園到着(現地学習会、施設及び歴史資料館見学、入居者との交流会等)
17:00	菊池恵楓園出発
19:00	大名町教会帰着

9 / 14(日)

ご案内

事前申込はありません。どうぞご参加下さい。

場所：カテドラル大名町教会

テゼの祈り

18:00～19:00

正義と平和の実現のために「黙想と祈りの集い」
ろうそくの暖かい光に照らされて、シンプルに神による愛の福音を述べ、
歌い、黙想するテゼ形式の集いです。どうぞご自由にご参加ください。

ネットワークミーティング

18:00～19:00

ネットワークミーティングは、全国で同じ活動をする仲間と、正義と平和全国集会というチャンスを利用して集まり、各地での活動のわかちあいや情報交換を行う場です。

これからこんな問題について活動してみたいけれど、どんなふうにと始めたらいいのかわからない、という人も、ぜひ、ネットワークミーティングに顔を出してみてください。

ミーティング	とりまとめ担当
20条部会	太田英雄
ピース9	秋山成子
死刑廃止部会	門間幸枝
脱原発ネットワーク	昼間範子

部屋は当日ご案内。

このほかのネットワークミーティングを主催されたい方は、
参加申し込み用紙に必要事項を記入の上、お申し込みください。

9 / 15(月)

09:00~10:45

シンポジウム(対談)

テーマ

いのちを大切にする社会とは

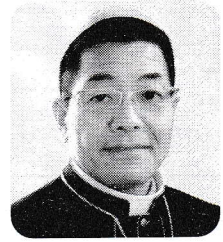


奥田知志牧師

NPO法人「北九州ホームレス支援機構」理事長

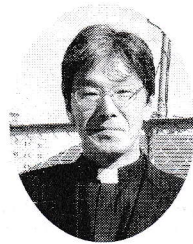
東日本大震災後、日本中で「絆」が叫ばれた。奥田知志牧師は、「この言葉には違和感があった。絆という言葉には『傷』が含まれており、真の絆は、自分の傷や弱さをありのままに表現出来てはじめて生まれるものではないか。社会とは、『健全に傷つくしくみ』のことではないか」と言う。長年ホームレス支援に携わって来られた奥田師のお話しをとおして、「助けて」と言えない社会、弱音を吐けない現代世界のあり様を様々な角度から分析してみたい。

一方、カトリック教会も「無縁社会」、あるいは少子高齢化社会の中にあって、その存在意義が問われている。大塚喜直司教(京都教区)をお招きし司牧の現場における取組み等を伺いながらシンポジウムを行い、「いのちを大切にする社会」を模索していきたいと思う。



大塚喜直司教

カトリック京都教区司教



司会：森山神父
久留米教会

派遣ミサ

11:00~12:30

司式 宮原良治司教

終了 13:00

第38回カトリック正義と平和全国集会2014福岡大会 **参加申込要項**

★大会参加費は おひとり1,000円です。

参加申込み〆切りは6月30日(月) 必着厳守

★申込み方法は

① F A X…093-622-1290

② 郵 送…〒806-0049 福岡県北九州市八幡西区穴生1-8-10 アドラック内
瀬 下 幸 弘 行

③ メール… seigitoheiwa2014@gmail.com

★交流会は 9月13日(土)18時30分～20時30分 大名町教会1階
参加費はひとり **3,000円**です。事前申込みが必要です。

申込書の交流欄に参加の有無をご記入ください。

★分科会・現地学習会は、

必ず第3希望まで番号とテーマで記入してください。

・現地学習会の参加費用は9月14日当日にいただきます。

★9月14日(日)の大名町教会で昼食注文の方は

申込み用紙の昼食に○を記入してください。600円

★申込み後の手順について

① 大会実行委員会より「参加申込み確認書」を7月20日までに送付し、
参加確定分科会または現地学習会をお知らせします。

② その際、同封の振込み用紙にて
参加費や交流会費(参加者のみ)を振込んでください。

振込み〆切り日は8月11日(月)必着でお願いいたします。

★キャンセルについて

8月31日(日)までにキャンセルをした場合は、交流会費3,000円のみをお返しします。その後のキャンセルについては一切の返金はできませんことをご了承ください。

カテドラル大名町教会までの経路

[福岡空港から]

地下鉄空港線→天神駅下車 徒歩4分
①番出口方面へ

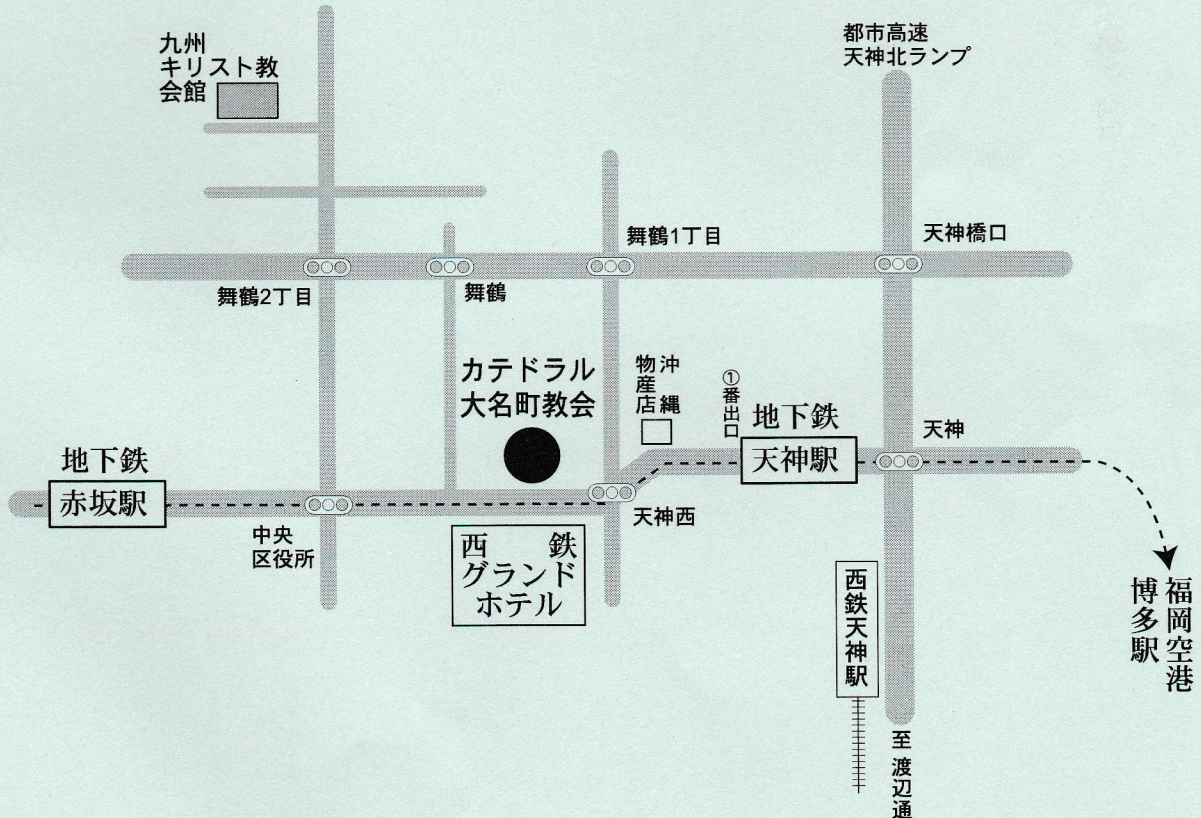
[JR博多駅から]

地下鉄空港線→天神駅下車 徒歩4分
①番出口方面へ

[九州道から]

福岡IC→都市高速 百道方面 天神北ランプ降りる
※教会は駐車できません。有料駐車場をご利用下さい。

カテドラル大名町教会近隣概略図



※ホテルの宿泊予約は各自で行ってください。
※料金はシーズンによっても違う場合があります。お確かめ
ください。

第38回カトリック正義と平和全国集会2014福岡大会 **参加申込書**

大会参加費は ひとり1,000円です。

参加申込み〆切りは6月30日(月) 必着厳守

★申込み方法は

① F A X … 093-622-1290

② 郵 送 … 〒806-0049 福岡県北九州市八幡西区穴生1-8-10 アドトラック内
瀬 下 幸 弘 行

③ メール … seigitoheiwa2014@gmail.com

	フリガナ	所属教会・団体		
名前				
住所	〒			
電話			FAX	
交流会 参加費 3,000円	参加する		参加しない	
	どちらかに <input type="radio"/> をつけてください。			
分科会 現地学習会	第1希望	番号	テーマ	9月14日(日) 大名町教会 での昼食注文 (600円) 注文 します 注文する方は <input type="radio"/> を つけてください。
	第2希望			
	第3希望			

- ▶ 分科会・現地学習は、案内書をご覧のうえ、必ず第3希望までご記入ください。
定員に達した場合など、他の希望へ変わっていただくこともございますので、あらかじめご了承ください。
- ▶ 参加費や交流会費は、参加申込み確認書とともに送付される振込み用紙にて8月11日(月)までに振込んでください。
- ▶ ホテルの宿泊は各自で行ってください。
- ▶ 介助や手話、バリアフリーなどの情報・対応が必要な方は通信欄にお書きください。
できるだけご要望に応じたいと思います。

通信欄	
-----	--